

## 初当選以来ずっと 定例議会で本会議質問

問 昭和中央土地地区画整理組合の賦課金の徴収決定の一連の行為はおかしい。差し押さえは認められるべきではない。

答 定款に基づいて進められた。理事の総意に基づいて道に差押の申請をしたものだ。

問 星が浦・鶴野地区の雨水対策のため、の星が浦川の河川改修の見通しはどうか。

答 27年度も引き続き地権者交渉を行い測量も行う。そのあと詳細な設計、用地買収、河川改修となり、そのうえで星が浦・鶴野地区の雨水管の整備に進む。

問 阿寒湖へのカジノ誘致をやめるべきだ。

答 法律の可決が遅れてきている。道は北海道型IR（カジノ）の構想をまとめており、情報を集めることは大事だ。

議会で毎回質問すること、議会の様子や政治のことを市民に報告することが議員の基本中の基本。そう思っている。新釧路川の橋のたもとで街頭演説を続けています。「簡単なことではないな。たいしたもんだ。」と言われると、かえって恐縮してしまいます。見てくれている人がたくさんいて、本当に心強い限りです。

4年の任期の最後の議会が開かれました。私は本会議と委員会でも何度も発言しました。その一部を紹介し



## 村上 かずしげ

1959(昭和34)年生まれの55歳。弘前大学人文学部卒、(株)日本旅行勤務、民主青年同盟釧路地区委員長を経て市長選(2回)と総選挙に立候補。2001(平成13)年、釧路市議に初当選、現任3期目、党市議団幹事長。北新町町内会長、勤医協友の会阿寒支部長、日本共産党釧路地区委員長も務めている。

## ぶれずに最後までスジを貫く 共産党の議席が必要です

日本共産党は企業献金も政党助成金も受け取りません。だから、どんな問題でも正面から取り上げ、最後まで市民との約束を守れます。フィットネスセンター廃止や新図書館の民間ビルの間借りには、はじめは反対と言っていたのに、最後は賛成にひょう変した公明、民主などとは違います。

阿寒病院の民営化が持ち出された時にも、一貫して反対の立場を貫き、有権者の過半数を超えた署名を力に、白紙撤回に追い込みました。



## 私のお約束

- ◎ 子どもの医療費を中学校卒業まで無料に。
- ◎ 国保料を一万円引き下げます。
- ◎ 第2子以降保育料を無料にします。
- ◎ 特養ホームを増やし在宅待機者をゼロに。
- ◎ 福祉灯油を実現します。
- ◎ 店舗の改装に補助金を出る。「商店版リフォーム事業」を創ります。
- ◎ 大津波の心配される地域に避難所を兼ねた公営住宅をつくりまします。

## 原発事故と放射能汚染から 市民を守ります

**これまで** 学校給食センターに放射能測定器を導入させました。原発事故の放射能の汚染が心配される震災瓦礫の受け入れにストップをかけました。

**これから** 泊原発の再稼働を許しません。釧路地域のどこにも、核のゴミの処分場はつくらせません。



## 道東初の共産党道議を



前市議団長 石川 明美

海外視察の飛行機の中で泥酔して大失態して道議を辞任、本当に恥ずかしい話です。道議の特権となっている「海外視察」は直ちに廃止します。

日本共産党が伸びれば、道政と市政は必ず変わります

